

活動名：第20回喜多方市長杯蔵のまちフットサルフェスティバル大会

日程：平成27年12月19日（土）～20日（日）

会場：喜多方市押切川公園体育館

参加：E4クラス選抜（リフティング上位者）10名

帯同：設楽・渡邊コーチ・貝和スタッフ

対戦相手：

予選リーグ

VS 吉井田 SSS ●

VS エスペランサ ○

VS 窪田 SSS（山形県） ○

リーグ2位通過

VS 会津サントス ●

VS 喜多方東コラソン ○

VS 興議小 SSS（山形県） ○

結果：5位（16チーム中）

報告：設楽コーチ

今回は、E4クラスのリフティング回数上位者10名を選抜して、大会に参加しました。

昨年度は初の優勝を成し遂げたカテゴリーの大会でしたので、是非、今年度の4年生たちも優勝できればという夢を持ち、子どもたちも目標を「優勝」と掲げ、挑みましたが、結果は第5位でした。

さて、今大会については以下のとおりです。

- 選抜された選手達には、リフティングで選ばれたことによる誇りを持ち、またこの大会に参加できなかった仲間のためにも全力を尽くすことを伝えました。
- 試合では、普段の練習のとおりプレーを発揮できない選手が多く、緊張していたのか・・・？試合経験が無いということもありますが、こんなにも緊張するのはこの年代の性格的な部分が大きいのかもしれません。
- 自分のシュートの距離以上の場所から焦って打ってしまうプレーが多く、ゴールまでにしっかりと強いシュートが打てませんでした。自分のシュートレンジをしっかりと体で覚えさせることが大事だと思いました。
- 試合出場後、3分程度で疲れていて休む姿が見られ、他チームに比べて体力がないと思いました。そのため、今後の練習の強度をあげる必要があると思いました。しかし、普段の月7～8回90分間の練習だけでは体力増強は厳しい現状と思われます。学校生活や普段の友達との外遊びの中で少しずつ体力を付けてほしいと思います。

- 試合中のプレーでは、相手に簡単に取りられないように頑張る気持ち、失ったら取り返す気持ちをもっと出してほしいと感じました。
- 他のチームの試合を真剣に見る選手が少なく、何度か注意をしました。自分の世界だけの幼少のサッカーから、相手を意識したサッカーに移行させたいと感じました。
- フットサル競技は、この年代では初めての大会でしたが、大会前の1回だけの特別練習会で、ルールや戦術を覚え試合ができたことに子どもたちの能力の高さに感心しました。
- スタンドで応援してくださった大勢の保護者の方々には、二日間、子どもたちに大きな声援をいただき、ホームグラウンドのような試合ができたことに感謝いたします。
- 自分たち個々に頑張るプレー（相手に負けない、ボールを奪う、ボールを取られない気持ち）がチーム全体の結果に繋がることをミーティングで採算伝えました。
- 練習中のプレーが発揮できれば、もう少し試合結果も良かったと思いますが、チームとしての結果は二の次とし、今回は参加した選手たちが何かを感じ、もっと頑張ろうといった気持ちが少しでも芽生えてくれれば良いと思います。

保護者の方々には二日間、遠い会津の地へ送迎と二日間にわたる温かい応援をいただき有難うございました。

大会関係者の方々には、毎年ご招待をいただき感謝いたします。

<おまけ>

決勝戦のアクティーバ会津さんと北部 FC (山形県) さんの試合は、壮絶な試合内容でした。アクティーバ会津さんが延長戦の末、優勝しました。体育館全体がどちらが勝利するのか残りの1秒までわからない感動する試合でした。

コーチ：設楽



